

# Newsletter



日本教育情報学会  
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

No. 54 1994. 9. 1

〒141 東京都品川区大崎 5-6-2 産能大学内

事務局：

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL 03-5487-8864

## ——— 日本教育情報学会第10回年会 開催報告 ———

去る8月2日(火)、3日(水)の2日間にわたり日本教育情報学会第10回年会在中央工学校(東京都北区)で開催されました。

記録的な猛暑の中でしたが、約150名の方が出席し、課題研究テーマ『これからの情報教育』について、8名の方から『情報活用能力の枠組み』『情報研究を体系的に考える』の2会場に分かれて研究成果が発表されました。また、一般研究発表は情報教育、マルチメディアの利用、プロジェクト研究と実践など15テーマのセッションに分かれ、63件の日頃の研究の成果が発表されました。

『映像教材の開発と流通(マルチメディア教材作成のために)』と題して行われたシンポジウムでは、若山皖一郎年会実行委員長の司会により、後藤忠彦(岐阜大学) 柿本幸治(放送大学)、秦隆博(日本アイ・ビー・エム)、田中正己(大垣市教育研究所)の各氏に、研究者、行政、メーカー、教育実践それぞれの立場からの発表をいただいた後、討議に入りました。参加者からは、活発な意見や質問があり予定時間をオーバーしてしまうほどでした。このシンポジウムを受けた形で、今年度、研究発表会を随時開催する予定です。

第11回年会は、1995年夏季に京都地区で開催する予定ですので、皆さんの積極的な参加をお願いします。詳細が決定次第News letterでお知らせいたします。

なお、第10回年会論文集は、1冊2,500円(送料込)で頒布していますので、入手ご希望の方は事務局までお申込みください。

## 第15期最後の総会開催される

平成6年6月 日本学術会議広報委員会

今回の日本学術会議だよりでは、5月25日から27日まで開催された第118回総会の概要と同総会で採択された「新しい方式の国際研究所の設立について(勧告)」、「公的機関の保有する情報の学術的利用について(要望)」、「女性科学研究者の環境改善の緊急性についての提言(声明)」についてお知らせします。

## 日本学術会議第118回総会報告

日本学術会議第118回総会(第15期・第6回)が、5月25日～27日の3日間にわたって開催されました。

総会の初日(25日)の午前は、会長からの前回総会以降の経過報告に続いて、各部、各委員会等の報告が行われました。次いで、今回総会に提案されている13案件について、それぞれ提案説明と質疑応答が行われました。午後からは、各部会が開催され、総会提案案件の審議及び各部会個別案件について審議が行われました。

総会2日目(26日)の午前は、前日提案された13案件のうち、9案件の審議・採択が順次行われました。

まず、「日本学術会議会則の一部を改正する規則」、「日本学術会議の運営の細則に関する内規の一部改正」、「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規の一部改正」、「副会長世話担当研究連絡委員会の運営について(申合せ)の一部改正」及び「第16期における研究連絡委員会委員の在任期間等に関する規定の適用について(申合せ)」について一括して討論が行われ、採決の結果、いずれも可決されました。これらの会則、内規等の改正は、

## 1. 運営審議会の構成員等の見直し

常置委員会と運営審議会の連絡を緊密にし、運営審議会の議論をより充実させるため、常置委員会委員長が常時運営審議会に出席することとし、併せて、運営審議会の構成員の見直しを行うこと。

## 2. 第7常置委員会の設置及び第16期に向けての研連の見直し

国際対応委員会の改組について(申合せ)(平成

5年4月22日第116回総会決定)に沿って第7常置委員会を設置し、併せて、各部等での検討結果を踏まえ、第16期へ向けての研連の見直しを行うこと。

## 3. 研連委員の在任期間等関係

研連委員の在任期間に関する運営内規の解釈をより一層明確化するとともに、将来に向けての研連活動の継続的發展・活性化を図るため、研連委員の在任期間等についての関係規定を整備することを趣旨とするものです。

次に、「運営審議会附置会員推薦手続検討委員会の設置」についての討論・採決が行われ、可決されました。これは、会員推薦制度導入以来、今回で4度目となり、会員推薦手続の過程において、幾つかの問題点がみられたことから、これらの諸問題について審議するため、新たな委員会を運営審議会に附置するものです。

続いて、「新しい方式の国際研究所の設立について(勧告)」、「公的機関の保有する情報の学術的利用について(要望)」、「女性科学研究者の環境改善の緊急性についての提言(声明)」についての討論・採決が行われ、可決されました。午後は、「第6常置委員会報告～国際学術交流・協力の飛躍的發展のために～」、「人口・食糧・土地利用特別委員会報告～21世紀の人口・食糧問題に対する全人類の取組に向けて～」、「学術国際貢献特別委員会報告～学術国際貢献のための新たなシステムについて～」及び「死と医療特別委員会報告～尊厳死について～」の4件の対外報告について討論が行われ、それぞれ承認されました。

総会3日目(27日)は、午前は各常置委員会及び国際対応委員会が、午後は各特別委員会がそれぞれ開催されました。

## 新しい方式の国際研究所の設立について (勧告) (抄)

近年、学術の国際交流がますます盛んになるとともに、新しい方式の研究所が世界の国々に設立されている。それらの新しさは、固有の研究員をほとんどたず、国内外から招請した客員研究員による共同研究を企画し実行する点にある。この方式にふさわしい分野としては、自然科学のみならず、人文科学、社会科学を含め様々な領域が考えられるが、理論構築を主眼とする研究領域においては、研究テーマを学際的、機動的に選択する上で特に有効である。これは、また国を異にする若手研究者が相集い、生活と研究ないし研修を共にする場としても大きな効果を生むであろう。実際、世界的には、この意味で成果をあげている新研究所も少なくない。

さらに、いま国際貢献が基礎科学においても強く求められているが、それは、学術研究の推進と相互に強め合うべきものであって、このためにも新しい方式は最適である。

こうした観点から、新しい方式の国際研究所の設立が必要であり有用であるとの結論に達したので、ここにその設立を勧告する。

## 公的機関の保有する情報の学術的 利用について(要望) (抄)

研究者が学術研究のために必要とする情報には、極めて広範囲なものが含まれており、その内容は、学問分野によっても多種多様である。学問分野によっては、公的機関の保有する情報が学術研究にとって極めて重要なしは不可欠な意味をもつことになる場合も少なくないが、多くの場合に、かかる公的機関の保有する情報を学術情報として利用することには困難が伴っている。それは、公的機関の保有する情報の少ない部分が公開されておらず、学術情報としての利用についてもその開示を求めることができないからである。

このような公的機関の保有する情報の学術的な利用のためにも、まず基本となるのは、国民の基本的な権利に基づく公的機関の保有する情報の公開制度である。この制度の確立によって、公的機関の保有する情報の学術情報としての利用も同時に保障されることになるからである。公的機関としては、国家機関及び地方公共団体機関を挙げることができるが、国家機関の保有

する情報についての公開制度が設けられていないことは、学術研究にとっても特に重大な障害となっている。国民の「知る権利」を中心とする基本的権利を保障するための国家機関の保有する情報の公開制度は、学術研究にとっても極めて重要な意味をもっているといえる。国民の基本的な権利を保障するために、また学術研究の推進のためにも、原則公開を基本とした確かな内容を持つ国の情報公開制度の確立が不可欠であると考えられるので、ここに情報公開法の制定を要望する。

なお、公的機関の保有する情報の学術的利用については、情報の保存及び研究者による非公開情報の利用についての検討が必要である。

## 女性科学研究者の環境改善の緊急性 についての提言(声明) (抄)

女性の社会的地位の向上を目指す取組が、国際的にも国内的にも種々行われているが、日本学術会議においても第10期及び第12期に女性科学研究者の地位の向上に関する「要望」を決議した。今期、すなわち第15期の発足に当たり、日本学術会議は「女性研究者の地位の向上」に留意することを再確認し、今期の活動計画の一つにこの課題を取り上げ審議してきた。その結果、女性科学研究者の地位の向上の必要性は理念的には一般化したものの、科学者全体の対応の遅れもあって、その地位は実質的に余り改善されていないことが明らかになった。

このため、特に基礎科学分野における科学研究者不足の事態が目前に迫っている現在、我が国における科学の調和のある発展のために、第10期、第12期での男女平等の視点を前提としつつ、日本学術会議は、改めて女性科学研究者の環境改善の緊急性を指摘するとともに、関係方面に環境改善の促進を強く訴えるものである。

「日本学術会議だより」について御意見、お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291

教育工学関連学協会連合・第4回全国大会 分科会日程

第1日 10月8日(土曜日)

会場名	10:00~12:00 11(一般研究発表1)	昼食 12:40~13:20 (総会)	13:30~15:30 12(課題1・フォーラム)	15:45~17:45 13(一般2・課題2)	18:15~ (懇親会)
シンポジウム		教育工学会総会			
分科会場A	般) 認知発達		フ) 大学における自己評価	課) 対話的学習環境(1)	生協第2食堂
分科会場B	般) 授業研究(1)		課) 授業研究の方法I	課) 授業研究の方法II(1)	養民楽見会
分科会場C	般) 視聴覚教育(1)		課) 関心意欲態度の評価(1)	課) 関心意欲態度の評価(2)	18:15~
分科会場D	般) カリキュラム開発		課) 情報教育と学力(1)	課) 情報教育と学力(2)	
分科会場E	般) コンピュータ利用教育(1)		課) 放送による学習	般) コンピュータ利用教育(2)	
分科会場F	般) 教育評価(1)		フ) ヒューマン・コンピュータ技術	般) 人工知能	
分科会場G	般) 教育情報(1)				
分科会場H	般) 科学教育		課) マルチメディアの教育利用(1)	課) マルチメディアの教育利用(2)	
分科会場I	般) 情報教育(1)			般) 情報教育(2)	
分科会場J	般) 教科教育(1)				
分科会場K	般) 教師教育(1)			般) 教師教育(2)	
分科会場L	般) 語学・日本語教育(1)				
分科会場M	般) 教育メディア(1)				
分科会場N	般) システム開発(1)				
分科会場O	般) 学習環境(1)				

課) = 課題研究 般) = 一般研究 自) = 自主シンポジウム フ) = フォーラム ES) = International English Session

第2日 10月9日(日曜日)

会場名	9:30~11:30 21(一般研究発表3)	昼食 12:10~12:50 (総会)	13:00~15:15 22(シンポジウムI)	15:30~17:30 23(一般4・自シンポ)	18:00~ (委員会関係)
シンポジウム			シンポジウムI: 「新しい学力観に教育工学 はどう寄与できるか」		
分科会場A	課) 対話的学習環境(2)			自) 情報教育の一貫性	
分科会場B	般) 授業研究(2)			自) 教師の成長と教師教育	
分科会場C	般) 視聴覚教育(2)		CAI学会総会:	自) 学芸員のための視聴覚教育	
分科会場D	般) CAI(1)			般) CAI(2)	
分科会場E	般) コンピュータ利用教育(3)		日本視聴覚・放 送教育学会総会:	般) コンピュータ利用教育(4)	
分科会場F	ES) English Session(1)			ES) English Session(2)	
分科会場G	般) 教育情報(2)			般) 障害児・者教育	
分科会場H	般) 遠隔地教育			自) 多メディアとコミュニケーション	
分科会場I	般) 情報教育(3)			般) 情報教育(4)	
分科会場J	般) 教科教育(2)			般) 教科教育(3)	
分科会場K	般) 教師教育(3)			般) 語学・日本語教育(2)	
分科会場L	般) 教材開発(1)			般) 教材開発(2)	
分科会場M	般) 教育メディア(2)			般) 教育メディア(3)	
分科会場N	般) システム開発(2)				
分科会場O	般) 学習環境(2)			自) ファジィ理論の応用	

第3日 10月10日(月曜日・祝日)

会場名	9:30~11:30 31(一般5・課題3)	昼食 12:10~12:50 (委員会関係)	13:00~15:15 32(シンポジウムII)	15:30~17:30 33(一般6・課題4)
シンポジウム			シンポジウムII: 「情報化時代の学習環境」	
分科会場A	課) 自然言語教育支援(1)			課) 自然言語教育支援(2)
分科会場B	般) 授業研究(3)			課) 授業研究の方法II(2)
分科会場C	課) 新学力観と教師教育(1)			課) 新学力観と教師教育(2)
分科会場D	般) CAI(3)			般) CAI(4)
分科会場E	般) コンピュータ利用教育(5)			課) ヒューマン・コミュニケーション
分科会場F	般) 教育評価(2)			般) 教育評価(3)
分科会場G	般) 国際協力			
分科会場H	課) マルチメディアの教育利用(4)			課) マルチメディアの教育利用(5)
分科会場I	般) 情報教育(5)			般) 情報教育(6)
分科会場J	般) 教科教育(4)			
分科会場K	般) ネットワーク(1)			般) ネットワーク(2)
分科会場L	般) 教育方法			
分科会場M	般) 教育メディア(4)			
分科会場N	般) システム開発(3)			
分科会場O	般) 学習環境(3)			

**教育工学関連学協会連合**  
**第4回全国大会のお知らせ**  
**(最終報)**

教育工学関連学協会連合・第4回全国大会(10月8日～10日)につきましては、大変多くの方々の参加及び研究発表の申込み(課題研究約110件、一般研究約330件)をいただきました。現在、大会プログラム集及び参加章を参加申込みされた方に9月中旬にお送りできるよう作業中です。参加の申込みが未だの方は、下記大会事務局まで申込みください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第4回全国大会実行委員長 後藤忠彦

### 1. 参加学協会等

- 主 催：教育工学関連学協会連合運営委員会  
合同主催：日本教育工学会、CAI学会、日本視聴覚・放送教育学会、  
国立大学教育実践研究関連センター協議会、電子情報通信学会教育工学研究専門委員会  
共 催：日本科学教育学会、日本認知科学学会、日本教育方法学会、人工知能学会  
協 賛：(財)計測自動制御学会、(財)情報処理学会、(財)電気学会、(財)日本建築学会、  
(財)日本工業教育協会、日本カリキュラム学会、日本教育学会、  
日本教育情報学会、日本教育心理学会、日本教育工学協会、日本行動計量学会、  
日本特殊教育学会、日本フジ学会、語学ラボラトリー学会；  
IEEE Education Tokyo Chapter  
後 援：文部省、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、(財)岐阜コンベンションビル

### 2. 大会日程

- 10月8日(土)  
10:00～12:00 一般研究発表1  
12:00～12:40 昼食  
12:40～13:20 日本教育工学会総会  
13:30～15:30 課題研究発表1, フォーラム  
15:45～17:45 一般研究発表2, 課題研究発表2  
18:15～ 懇親会(大学生協・第2食堂)
- 10月9日(日)  
9:30～11:30 一般研究発表3, International English Session  
11:30～12:10 昼食  
12:10～12:50 CAI学会総会, 日本視聴覚・放送教育学会総会  
13:00～15:15 シンポジウムI  
15:30～17:30 一般研究発表4, International English Session, 自主シンポジウム
- 10月10日(月・祝日)  
9:30～11:30 一般研究発表5, 課題研究発表3  
11:30～13:00 昼食  
13:00～15:15 シンポジウムII  
15:30～17:30 一般研究発表6, 課題研究発表4

### 3. 会 場

岐阜大学教育学部・教養部 〒501-11 岐阜市柳戸1-1

#### ※交通手段

- 1) JR岐阜駅前バス停(岐大キャンパス線)あるいは名鉄新岐阜駅前・4番バス停(岐大キャンパス線)から、岐阜バスで約25分
- 2) 名神高速・岐阜羽島インターから岐阜方面に道なりに約35分。会場校内に駐車できます。
- 3) 名古屋空港からは、名鉄・新岐阜駅行きのリムジンバス(約70分)があります。

#### 4. 研究発表

- (1) シンポジウム  
シンポジウムⅠ 新しい学力観に教育工学はどう寄与できるか (10月9日)  
シンポジウムⅡ 情報化時代の学習環境 (10月10日)
- (2) 課題研究・一般研究・自主シンポジウム・フォーラム  
図のように分科会のスケジュールが決定しております。

#### 5. 懇親会

大会参加者の懇親と交流を深めるため、大会初日(10月8日・土曜)に、岐阜大学生協・第2食堂で懇親会を開催いたします。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 6. 参加申込み

大会参加希望される方は、事務局までご連絡ください。当日参加も受け付けますが、できるだけ事前の参加申込みをしていただきたいと思います。

大会実行委員会事務局 TEL:0582-30-1111(内)3394 直通:0582-39-7224 FAX:0582-30-1139  
〒501-11 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センター内

- ・参加料(予約) 1人 3000円
- ・参加料(当日) 3500円
- ・講演論文集 1部 4000円
- ・論文集送料 1部 450円 (郵送希望者のみ。送付は大会後になります。)
- ・懇親会参加料 1人 5000円

参加費等の送金は、郵便振替でお願いします。通信欄に代金の明細が分かるように記入いただき、以下の口座番号に振込下さい。

口座番号: 00850-5-123430

加入者名: 教育工学関連学協会連合第4回大会実行委員会

#### 7. その他

- ◎実行委員会による宿泊の案内・幹旋はいたしません。  
旅行代理店(JTB岐阜支店・〒500 岐阜市神田町4-6 TEL:0582-64-7911 FAX:0582-62-3641 担当・森, 所)にご依頼ください。
- ◎また、会場校周辺に食堂が少ないこと、開催期間が休祝日(8日のみ生協食堂営業)にあたることから、昼食の弁当を予約されることをお勧めします。(JTB岐阜支店)

### 研究会開催のご案内

第10回年会のシンポジウムを受け、シリーズテーマとして『マルチメディアと教育情報環境』を設けて定期的に研究会を開催いたします。ぜひご参加くださいますようご案内いたします。

なお、申込案内は別紙をご参照ください。

●シリーズテーマ『マルチメディアと教育情報環境』

- 第1回 10月1日(土) 東京 「教育へのマルチメディアの適用」
- 第2回 11月19日(土) 東京 「マルチメディアの素材データベース」
- 第3回以降は、追ってご連絡いたします。